

今、学校園がおもしろい NO. 17

2015年3月4日

発行：泉佐野市教育委員会教育部

「笑顔あふれる発表会」 ～さくらこども園～



2月18日（水）、さくらこども園において、4歳児の発表会がおこなわれました。寒い中でしたが、大勢の保護者の方がたが参加されていました。インフルエンザの影響が心配されていましたが、当日は97人全員が参加することができました。

4歳児全員による歌「けんかのあとは」「ホホホ」は、寒さを吹き飛ばすような元気な声が遊戯室中に響いていました。多くの子もたちが、からだ全体を使って歌っており、見ていてとても元気が出ました。

また、れんげ組の劇「ねずみのよめいり」とすみれ組のオペレッタ「てぶくろ」は、とても楽しかったです。

子どもたちは、大勢の保護者の前でも緊張することなく堂々とセリフを言ったり、歌を歌ったりしていました。子どもたちのがんばっている姿を、保護者の方たちもあたたかく見守っておられました。



最後には、2クラス合同の合唱「こんなにおおきくなくなったんだ」で、子どもたちは、大きな口をあけて、力いっぱい歌い切りました。保護者の中にも感動の涙を流されている方もいらっしゃいました。

こども園として初めての発表会でしたが、先生方の思いがたっぷり詰まった発表会で、見ていてとてもあたたかい気持ちになりました。



「笑い涙の発表会」

～のぞみ幼稚園～



2月10日（火）、のぞみ幼稚園で発表会がおこなわれました。会場には多くの保護者の方がつめかけていました。

発表会は、年少児の元気な歌で幕を開けました。大きく口を開けて歌っている年少児の姿を見て、とても元気をもらいました。また、司会や曲紹介も、子どもたちがおこなっていました。つまりながらも

一生懸命言っている言葉を聞いていると、子どもたちの発表会に対する思いが伝わってきました。

年少児の遊戯は、かっこいいものやかわいらしいものなど全部で6つありました。どれも工夫されたきれいな衣装を着て、表現豊かに、音楽に合わせて踊っていました。からだ全体を使って表現している姿は、とても元気で、日頃の園での楽しい生活が目につかぶようでした。

年長児の劇は、とても素晴らしかったです。お話も所々に笑いが入り、保護者も終始笑顔で見守っていました。子どもたちは長いセリフをすらすらと語り、本当におどろきました。また、発表会と



いう緊張する状況でも、身振り・手振りをしながら堂々と役を演じている子どもたちの姿に、2年間の成長を感じている方も多かったのではないのでしょうか。

最後に歌われた年長児の歌は、本当に立派で堂々と歌っていました。子どもたちの立派な姿に、多くの保護者が涙されていました。

暖かい小春日の中、笑いあり、涙ありのとても素晴らしい発表会でした。



「1年間の成果」

～初任者研修における研究授業～

初任者の方々の研究授業が長坂小学校、末広小学校、中央小学校、新池中学校において行われました。それぞれ各学期に1回ずつ、合計3回の初任者による研究授業が行われており、今回はその3回目にあたり、1年間のまとめともいえる授業が行われました。長坂小学校の2年生ではキツネの親子のお話を題材に道徳の授業が行われ、「感謝」について児童たちなりに考えていました。また、新池中学校の3年生でも道徳の授業が行われ、インターネット掲示板の書き込みについての題材からネット上でのコミュニケーションの便利さや難しさに気づく生徒たちの姿がありました。中央小学校では、国語を題材に4年生が新しいことわざをつくったり、1年生が3ヒントクイズをつくったりと児童たちの意欲的な創作活動が見られました。末広小学校の5年生では社会の授業が行われ、資料や写真から自然災害がなぜ起きるのかを積極的に考え発表する1時間となりました。

どの授業も児童や生徒の実態をふまえ、資料、発問等とよく教材研究された授業でした。また、子どもとの受け答えでは、1学期の時より数段ステップアップし、子どもの意見をしっかりと受けとめるたくましい先生の姿がありました。各先生たちは、この1年間で先輩教師から学んだことや、各行事を子どもたちと乗り越えてきた中で培われた教師力を、今後の教師生活でも発揮されることでしょう。

